

# 宇和海より得られた愛媛県初記録のセンウマヅラハギ

清水孝昭<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 愛媛県農林水産研究所水産研究センター



写真1 *Thamnaconus multilineatus* センウマヅラハギ (TKPM-P 24140)

## 種の記録

Monacanthidae カワハギ科

*Thamnaconus multilineatus* (Tanaka, 1918)

センウマヅラハギ(写真1)

標本 徳島県立博物館魚類標本(TKPM-P 24140)

採集年月日:2021年3月21日. 採集場所:愛媛県八幡浜市~宇和島市日振島の間. 採集方法:小型底曳網. 全長 215.8mm, 標準体長 175.2mm.

## 種の特徴

体は側扁する。第1背鰭棘は眼の上に位置する。腰骨の後端に鞘状鱗がある。鰓孔下端は眼の前縁直下に位置し、胸鰭基部背縁に達する。体色は黄褐色で、無数の細い暗色線が、頬部で斜走、体側で縦走する。第1背鰭の鰭膜、第2背鰭と臀鰭の鰭条は黄色味を帯びる。背鰭2棘32軟条、臀鰭31軟条。

## 備考

本種は水深120-150mに生息し、国内では房州沖相模灘、神奈川県三浦半島、熊野灘、土佐湾、富山湾、五島列島、薩南諸島、東シナ海から知られる(林・萩原, 2013; 松本ほか, 2021)。愛媛県からこれまで公

式な記録はなく、本報告が初記録となる。

## 謝辞

標本を寄贈いただいた西中博文氏に感謝の意を表す。

## 引用文献

- 林 公義・萩原清司. 2013. カワハギ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版, p. 1712-1721, 2236-2237. 東海大学出版会, 東京.
- 松本達也・前川隆則・本村浩之. 2021. 薩南諸島初記録のカワハギ科ウマヅラハギ属3種(アズキウマヅラハギ・センウマヅラハギ・ゴイシウマヅラハギ), および *Cantherhines* に対する標準和名ハクセイハギ属(新称)の提唱. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 12:12-19.

(2022年9月16日受理, 2022年9月16日公開)

連絡先: 清水孝昭 (e-mail: simizu-t@sky.hi-ho.ne.jp)

(Takaaki Shimizu. 2022. First record of *Thamnaconus multilineatus* (Monacanthidae) from Uwa Sea, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 22013)